

## = 学級経営案 =

### 1. 学校教育目標や学校の特色など

#### (1) 学校教育目標

- ・学力の向上をめざす健全で創造性豊かな人格の育成
- ・国際的視野に立ち自他を敬愛する人格の育成

#### (2) 学校運営方針

- ・生徒一人ひとりの個性を伸ばし、幅広い学力の向上を目指す。
- ・●●大学と一体となって、教育研究・教育実践・教育実習の充実をはかる。

#### (3) 学校の特色

学校の特色として、「少数精鋭」「創造探究」「自主自立」の三つが掲げられている。

第一の特色である「少数精鋭」については、小規模校（1学年3クラス）というメリットを存分にいかすことができるよう、生徒一人ひとりへのきめ細やかな指導に努めています。たとえば、生徒の本分である勉学にしっかり取り組む環境、個別に質問・相談しやすい雰囲気大切に日々の学習指導にのぞんでいます。

また、平日の早朝や放課後、土曜日、春・夏休み等には補習を実施したり、卒業生によるマンツーマン指導も行っています。さらに、保護者を交えた三者面談も全員を対象として行い、学習状況・学校生活・卒業後の進路などについて、ていねいな指導を心がけています。

#### ◆ていねいな進路指導

1年から3年まで、各学年において計画的な進路指導に努めています。たとえば、1、2年生では、大学への進学や将来の職業への夢・志を確かにできるように将来設計の一助として、現在各界で活躍する卒業生による「大学・職業ガイダンス」を実施しています。また、いくつかの大学を訪問し、研究室を見学したり大学の先生方の講義を聴いたりして将来の進路決定に役立たせています。

さらに、平成24年度は希望者対象に「理科アドバンス講座」を開講しています。これは「未来のエネルギーを考える」ことを目的とした講座で、●●大学や●●大学、●●大学などの先生方からエネルギーに関する最先端の講義を聴講したり、大学での実験を体験したりすることもできます。3年生では大学進学に向けた「進路ガイダンス」を生徒・保護者それぞれに実施して大学選択から受験にいたるまで必要な情報を提供するほか、学習の指標となるよう「校内模試」「業者模試」をあわせて6回実施しています。担任の先生と納得するまで相談して進路を決めていく。これも生徒・保護者・教師の距離が近く、ていねいな指導ができる小規模校ならではのメリットです。

第二の特色である「創造探究」に関しては、「受験学力」に留まらない、大学入学後も伸び続ける学力の習得を目標としている。

#### ◆将来にいきる実践的な授業・学校行事

これからの社会に必要な「生きる力」とはどのような力でしょうか？基本的な知識や技能の習得は、ものごとを考える基盤となり新しいものを創造する基礎となりますから、当然必要なことです。それに加えて、急速にグローバル化していく社会の中で生き、社会のリーダーとして活躍するために必要なものは「チャレンジ精神」「自分の意見を述べ、人と協働して物事を進める力」「自分自身で考え新しいものをつくる独創性」ではないでしょうか。「多くのことを知っているが使えない」ということにならないよう、高校生の時代には様々な体験をすることが必要と考えています。

そのため、本校では、ディベートやプレゼンテーションを取り入れた授業、様々な体験ができる学校行事、卒業生をはじめ社会人の方からの講義、大学での授業など、豊かな経験が可能なカリキュラムが用意されています。「●●の卒業生はよく伸びる」と大学の先生方から評価していただけるのも、このような背景があるからと考えています。

第三の特色である「自主自立」に関しては、学校生活を通して得る幅広い経験と生きる力の育成を目標としている。

#### ◆生徒が自ら企画・運営する学校行事

●●には「行事で育つ」という言葉があります。1年生4月の「オリエンテーション合宿」を皮切りにほぼ毎月のように行事が組まれています。それらの行事のほとんどは生徒が企画・運営をしていきます。

体育委員や文化委員をはじめ、旅行委員や教科外委員など、各行事の運営を担当する生徒たちは、それぞれの行事について新しい企画を提案したり改善を加えたりしながら工夫を凝らしています。このような取り組みは、ふだんの授業では得にくい、そして、高校生活でしか得られない貴重な体験となると考えています。

## 2. 学年教育目標

### 3. 学級教育目標

#### 学習意欲や学習習慣の形成

本学級は、活発な生徒が多く、活動的な授業においては自発的に行う反面、教科の一斉授業においては私語がかなり多い。また、私語をしていない生徒も授業中の居眠りや他教科の